

高等学校 令和5年度（2学年用）

教科 公民 科目 公共

教科：教科 公民 科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 必修授業

教科担当者：

使用教科書：公共 実教出版株式会社

教科 教科 公民 の目標：

【知識及び技能】事実を正しく理解し、思考のための基礎的な知識を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】身に着けた知識をもとに、資料等の情報を分析し、考察・表現する。

【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的に参加し、有意義な時間にならんと努力する。また、課題にきちんと取り組む。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 【知識及び技能】 ・青年期の意義と特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人生における青年期の意義と特徴について、多面的に考察し、適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、青年期の意義や特徴への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとする。	・生涯における青年期の意義	【知識・技能】 ・青年期の意義と特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・人生における青年期の意義と特徴について、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、青年期の意義や特徴への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	3
B 単元 【知識・技能】 ・葛藤や欲求不満とその対処法、パーソナリティの理論や青年期の発達課題について理解する。 ・防衛機制のそれぞれの内容を理解する。 【思考・判断・表現】 ・望ましい自己のあり方と自己形成について、多面的に考察し、適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、青年期の発達課題や自己形成の課題への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深める。	青年期と自己形成の課題 職業生活と社会参加 現代社会と現代の生き方	【知識・技能】 ・葛藤や欲求不満とその対処法、パーソナリティの理論や青年期の発達課題について理解している。 ・防衛機制のそれぞれの内容を理解している。 【思考・判断・表現】 ・望ましい自己のあり方と自己形成について、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、青年期の発達課題や自己形成の課題への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	3
C 単元 【知識・技能】 ・ソクラテスが唱えた、「よく生きる」ことが何であるかを理解する。 ・人間の幸福な生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの考え方を理解する。 【思考・判断・表現】 ・よく生きること、幸福に生きることについて、多面的に考察し、適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、理想的な人間の生き方についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。	ギリシアの思想 宗教の教え 個人と社会 主体性の確立 他者の尊重	【知識・技能】 ・ソクラテスが唱えた、「よく生きる」ことが何であるかを理解している。 ・人間の幸福な生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・よく生きること、幸福に生きることについて、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、理想的な人間の生き方についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	4
D 単元 ・公正な社会のあり方についてのロールズの考え方を理解する。 ・ロールズの正義論を批判した、リパタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方を理解する。 【思考・判断・表現】	公正な社会	【知識・技能】 ・公正な社会のあり方についてのロールズの考え方を理解している。 ・ロールズの正義論を批判した、リパタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方を理解している。 【思考・判断・表現】				

1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・公正な社会について、多面的に考察し、適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、社会の公正なあり方についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公正な社会について、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、社会の公正なあり方についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。 	○	○	○	4	
	定期考査		○	○		1	
E 単元	人間の尊厳と平等 自由・権利と責任・義務 人権保障の発展と民主政治の成立 国民主権と民主政治の発展	【知識・技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解する。	【知識・技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	○	○	○	5
F 単元	日本国憲法の成立	【知識・技能】 ・明治憲法下の政治機構と日本国憲法下の政治機構の相違点を適切に読み取っている。 【思考・判断・表現】 ・憲法の意義について、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・憲法について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする。	【知識・技能】 ・明治憲法下の政治機構と日本国憲法下の政治機構の相違点を適切に読み取っている。 【思考・判断・表現】 ・憲法の意義について、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・憲法について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	5
G 単元	平和主義とわが国の安全	【知識・技能】 ・日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制が生まれた背景について理解している。 ・1990年代以降の安全保障体制の変容とこんにちの課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・安全保障について、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする。	【知識・技能】 ・日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制が生まれた背景について理解している。 ・1990年代以降の安全保障体制の変容とこんにちの課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・安全保障について、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
H 単元	基本的人権の保障 人権の広がり	【知識・技能】 ・自由権・平等権・社会権などの諸権利の内容について理解している。 ・公共の福祉の内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ・憲法が保障する自由や権利について、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・基本的人権について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	【知識・技能】 ・自由権・平等権・社会権などの諸権利の内容について理解している。 ・公共の福祉の内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ・憲法が保障する自由や権利について、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・基本的人権について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	3

2 学 期	I 単元 【知識・技能】 ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	政治機構と国民生活 人権保障と裁判所 地方自治	【知識・技能】 ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	3	
	J 単元 【知識・技能】 ・日本の選挙制度の種類とそれぞれの特徴、議員定数の不均衡などの課題について理解する。 【思考・判断・表現】 ・公正な選挙制度のあり方について、協働的に考察し、適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・選挙制度と政党政治について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする。	選挙と政党 政治参加と世論	【知識・技能】 ・日本の選挙制度の種類とそれぞれの特徴、議員定数の不均衡などの課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公正な選挙制度のあり方について、協働的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・選挙制度と政党政治について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	4	
	K 単元 【知識・技能】 ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解する。 【思考・判断・表現】 ・資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資本主義経済の変遷、社会主義経済の特徴と変容、現代資本主義の課題について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする。	経済社会の形成と変容 市場のしくみ 現代の企業	【知識・技能】 ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 ・資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資本主義経済の変遷、社会主義経済の特徴と変容、現代資本主義の課題について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	4	
	定期調査			○	○		1	
	L 単元 【知識・技能】 ・経済成長と景気循環、物価とインフレ・デフレの生活への影響について理解する。 【思考・判断・表現】 ・豊かさをあらわす指標には、どのような要素が必要であるのか、国の豊かさを数値化する意味について、多面的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・金融や金融政策における中央銀行の役割について関心を持ち、金融の自由化や国際化について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする。	経済成長と景気変動 金融機関の働き	【知識・技能】 ・経済成長と景気循環、物価とインフレ・デフレの生活への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 ・豊かさをあらわす指標には、どのような要素が必要であるのか、国の豊かさを数値化する意味について、多面的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・金融や金融政策における中央銀行の役割について関心を持ち、金融の自由化や国際化について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	5	
M 単元 【知識・技能】 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	政府の役割と財政・租税 日本経済の歩みと近年の課題 中小企業と農業 公害防止と環境保全 消費者問題	【知識・技能】 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。						

	<p>効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の日本経済の課題について、多面的に考察し、適切に表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して、よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとする。 		<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の日本経済の課題について、多面的に考察し、適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して、よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。 	○	○	○	5
	<p>N単元</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の考え方を知り、それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの社会保障制度をどのように形成していくべきかについて、多面的・多角的に考察したうえで、給付と負担のバランスについて選択・判断し、それらを適切に表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、ワーキングプアの解消やワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、学習した内容を社会生活に生かそうとする。 	<p>労働問題と雇用 社会保障</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の考え方を知り、それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの社会保障制度をどのように形成していくべきかについて、多面的・多角的に考察したうえで、給付と負担のバランスについて選択・判断し、それらを適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、ワーキングプアの解消やワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、学習した内容を社会生活に生かそうとしている。 	○	○	○	6
	<p>定期考査</p>			○	○		1
3 学 期	<p>0単元</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会には中央政府のようなものが存在しておらず、そのなかで各国が国家利益を調整する国際政治が行われていることを理解する。 ・勢力均衡と集団的自衛権の類似点を適切に読み取る。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連合が抱えている課題について、採決や財政の観点などから協働的に考察し、それらを適切に表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを、他者との利害調整といった社会生活に生かそうとする。 	<p>国際社会における政治と法 国家安全保障と国際連合 冷戦終結後の国際政治</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会には中央政府のようなものが存在しておらず、そのなかで各国が国家利益を調整する国際政治が行われていることを理解している。 ・勢力均衡と集団的自衛権の類似点を適切に読み取っている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連合が抱えている課題について、採決や財政の観点などから協働的に考察し、それらを適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを、他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。 	○	○	○	5
	<p>P単元</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偏狭なナショナリズムを乗り越えて、多文化主義に立脚した問題解決が重要であることを理解する。 ・核兵器禁止条約の歴史的意義について理解するとともに、核保有国や日本が参加していない理由や課題についても理解する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、軍縮における合意形成の過程を参考にして、他者との意見調整などに生かそうとする。 	<p>軍備競争と軍備縮小 異なる人種・民族との共存 国際平和と日本</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偏狭なナショナリズムを乗り越えて、多文化主義に立脚した問題解決が重要であることを理解させる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核兵器禁止条約の歴史的意義について理解するとともに、核保有国や日本が参加していない理由や課題についても理解している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、軍縮における合意形成の過程を参考にして、他者との意見調整などに生かそうとしている。 	○	○	○	5
	<p>Q単元</p>	<p>国際経済のしくみ</p>	<p>【知識・技能】</p>				

<ul style="list-style-type: none"> ・円高や円安が日本経済に与える影響について、輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正な国際貿易体制とはどのようなものか、協働的に考察し、それらを適切に表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由貿易を推進するメリットと、近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に探究して、望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとする。 	<p>国際経済体制の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・円高や円安が日本経済に与える影響について、輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正な国際貿易体制とはどのようなものか、協働的に考察し、それらを適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由貿易を推進するメリットと、近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に探究して、望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。 	○	○	○	4
<p>R単元</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域でどのような経済統合が形成されていったかについて理解する。 ・日本のODAの課題を適切に読み取る。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域的経済統合がもつメリットとデメリットについて、自由と公正の観点から協働的に考察し、適切に表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会における貧困と格差の解消について主体的に追究して、JICAによる支援活動などについても興味を持ち、それらの課題を意欲的に解決しようとする。 	<p>経済のグローバル化と金融危機 地域経済統合と新興国 ODAと経済協力</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域でどのような経済統合が形成されていったかについて理解している。 ・日本のODAの課題を適切に読み取っている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域的経済統合がもつメリットとデメリットについて、自由と公正の観点から協働的に考察し、適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会における貧困と格差の解消について主体的に追究して、JICAによる支援活動などについても興味を持ち、それらの課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	4
合計						
82						